

# 県外派遣報告書

栃木県バスケットボール協会 審判部

大会名	令和3年度関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第75回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会	開催地	千葉県船橋市 船橋アリーナ
報告者名 (所属連盟)	松本 祐大 塚田 和稀 倉持 雄一	派遣期間	令和3年6月5日～6日
参加者 (所属都県)	<p>本部:平原勇次(関東審判長) 北島寛臣(副審判長)          指名:細田知宏(東京) 大野太裕(茨城) 内野翔太(群馬)          東京:和嶋陽一 佐藤浩太 島袋竹志 三崎浩介          茨城:中山克則 一色涉 土田康隆 菊池瑞昭          栃木:梶崇司 増淵泰久 松本祐大 塚田和稀 倉持雄一          群馬:小澤朋克 穂川苑子 石崎公一 阿久沢尚夫 塚越洋平          埼玉:小原宏太 山岸大輔 土屋友由 箱石拓也          神奈川:大庭英裕 大澤尚樹 長谷川裕 本間竜也 青木太一          山梨:手塚清孝 佐田幸一 荻野健 大木裕一 中嶋清貴          千葉:渡邊拓人 佐藤拓哉          千葉県審判員の方々</p>		
<p>【審判会議内容】          審判会議式次第(ZOOMにて開催)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歓迎の挨拶 (一般社団法人千葉県バスケットボール協会 専務理事 大野健男氏) (一般社団法人千葉県バスケットボール協会 審判委員会 委員長 中島弘幸氏)</li> <li>2. 審判委員長挨拶(関東バスケットボール協会 審判委員長 平原勇次氏)</li> <li>3. 大会初日 審判割当確認 (関東バスケットボール協会 審判委員会 委員長 平原勇次氏)</li> <li>4. 大会2日目割当について (一般社団法人千葉県バスケットボール協会 審判委員会 委員長 中島弘幸氏)</li> <li>5. 開催県からのお願い・連絡事項(輸送、会場、宿泊、総務)</li> </ol> <p>〈平原勇次氏より〉(関東審判長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の中での開催のため、全体でのレクチャーや3人のクルーでのミーティングなどの規模縮小になることから、クルーでの連携を怠らず、割当されている1試合をしっかりとこなす必要がある。</li> <li>・今現在は、メカニクスの動きを中心に言われているが、チームからすれば基準を明確に示すことが一番大切である。同じようなケース(ファウル)はどちらのチームも取り上げること(公平性)</li> </ul>			

【感想・県内審判員へ伝えたいこと】 松本祐大

今大会では初日にAブロック1回戦、2日目にBブロック準決勝の計2試合を担当させていただきました。

自身の課題として、より精度の高い判定をメカニクス含め、より良い位置で判定できるように意識して臨みました。

両試合共に今まで取り組んで来たことを自分なりに表現できたと思いますがその中でカバーディフェンスに対してのレフリーディフェンスで弱い部分があるので、今後更に追求していきたいと考えております。

また、今大会は新型コロナウイルス流行後初めての関東大会であったことや現在の社会情勢を踏まえて万全の感染症対策を行った上で開催された大会となりましたので、以下内容をお伝えしたいと思います。

審判会議(前日ではなく開催週末曜日)のZOOM開催、検温体調管理の徹底、試合毎の主任は置かずにCC中心にクルー間での反省、自己担当試合時間に合わせた移動入り等がありました。

今大会に参加させていただき、このような社会情勢の中で大会を開催するためには、準備がいかに大切かを改めて感じました。準備含めきめ細やかなご対応、お心遣いを頂きました、千葉県の皆様、派遣審判員の皆様に心より御礼申し上げます。

また、派遣に際しご尽力いただきました、梶審判長、栃木県の皆様にも心より御礼申し上げます。

今回、オン・オフザコートで経験した事を今後の活動に活かして行きたいと思っております。

【感想・県内審判員へ伝えたいこと】 塚田和稀

今大会は自身初めて参加させて頂く関東大会であり、大会初日にAブロック1回戦にて割当を頂きました。

PGCではCCを中心としながらも、クルー各々が意識していることや当該チームの情報を共有し合い、個人でなくクルーとして試合に臨もうと話しました。意思の共有により、全員で試合に取り組むことができたと思っております。

試合としては序盤こそ点差の付く展開でしたが、4QでのEOQにてブザーと同時にショットが決まり延長戦へととなる試合でした。このような試合の中、試合の鍵となる留学生のマッチアップで選手同士のフィジカルや技術に任せ、判定すべき場面でコールのないケースがありました。またOOBでも分かっているが確証が持てずヘルプを求めてしまう場面があり、プレーから適切な距離を保ち、正しく、ベーシックに判定する力を付ける必要があると改めて実感しました。今回経験したことや伺ったお話を糧とし、更に精進致します。

最後に、今大会への派遣に際しまして梶県審判委員長をはじめ、県内の皆様より多くのご配慮、ご協力を頂きました。開催県である千葉県の方々には、コロナ禍で通常とは異なる状況の中大変お世話になりました。

皆様へ心より感謝を申し上げ、ご報告とさせていただきます。

【感想・県内審判員へ伝えたいこと】 倉持雄一

今回、初めて県外への派遣審判員として参加させていただきました。今日における、コロナ禍での関東高校大会を開催のため、全体での審判会議はリモートで行われました。例年の様な、講義やグループミーティング等は実施されずの形式になり、非常に不安な気持ちで臨むことになりましたが、当日は程良い緊張感の中、クルーの方と短時間でのミーティングを行ない、試合へ向かいました。初めてのクルーの方、会場の雰囲気、県外のトップレベルのチームなどなど、普段では味わうことのできない経験をすることができました。試合の反省としては、課題が多く目立つ内容でした。原因としては、準備不足や、経験値の乏しさを感じさせられました。この試合で悔しい思いをしたことを忘れず、今後は原因解決のため、今回で得た反省をもとに、数多くの試合を経験し、自信をもてるようにメンタルの部分の鍛錬をしたいと思います。また、審判技術として、メカニクスや判定力はさらに磨きかけられるよう、様々な試合を吹いて、多くの経験をしたいと思います。

最後に、社会情勢的に先行きが不透明な中、今回の派遣に際ましてご配慮頂きました平原勇次ブロック長、梶県審判長をはじめ、県内審判員、千葉県の審判員の皆様、大会関係者各位に感謝申し上げます。

報告者名	松本 祐大(U1)	CC	平原 勇次 (東京)
カード	Aブロック1回戦 市立柏(千葉県)ー桐光学園(神奈川県)	U2	小原 宏太 (埼玉)
◇ ミーティングの内容			
今大会、審判主任はなしの為、ゲーム中、ゲーム前後にクルー間で話した内容を記載			
・立ち上がりよりシュート(3P)が立て続けに決まっていることから、そのマッチアップを逃すことのないようにする			
・ドライブが多いゲームなのでレフリーディフェンスをしっかり行う			
・足元をゲームの出だしから良く確認(早い段階で起こったものを逃さないように)			
・ゲーム全体でそれぞれが役割を果たしていた			
《審判主任》			

報告者名	松本 祐大(U2)	CC	中嶽 希美子 (千葉)
カード	Bブロック準決勝 成立学園(東京)ーつくば秀英(茨城)	U1	石崎 公一 (群馬)
◇ ミーティングの内容			
今大会、審判主任はなしの為、ゲーム中、ゲーム前後にクルー間で話した内容を記載			
・お互いボールマンに対してタイトなディフェンスを行うチームなのでよく確認を行う			
・ドライブが多いゲームとなった→カバーディフェンスをしっかりとレフリーディフェンス			
・リバウンドに飛び込んでくるケースが多いので位置確認をよく行っておく			
・全体的にそれぞれのプライマリーで仕事ができ、またアングルが厳しいものはカバーできていた			
《審判主任》			

報告者名	塚田 和稀	CC・U1	CC菊池瑞昭(茨城)、U1荻野健(山梨)
カード	Aブロック 1回戦 東海大菅生高校(東京)ー日本体育大学柏高校(千葉)		
◇ ミーティングの内容			
・クルーとして、もっと留学生のところを整理すべきだった →ファウルを取るべき場面で鳴っていなかった			
・マージナルとして吹かなくてもよい笛があった			
・OOBでのヘルプを求めた回数が多かった →自身が判定すべき場面で、見えたが確認が持てずヘルプを求めてしまい、 基本的に見えているのであればまずディレクション、最悪ヘルプで訂正してもらう方がよかった →まずは適切な位置と距離を保ち、正しく判定をする			
《審判主任》 中島 弘幸 氏			

報告者名	倉持 雄一	CC	中嶋清貴 (山梨)
カード	Bブロック1回戦 新島学園(群馬) 対 木更津総合(千葉)	U1	土田康隆 (茨城)
◇ ミーティングの内容			
・判定に関しては、各自の持ち味をだせるように。 特に、大きな現象(ブロックorチャージなど)は、逃さず、決着をつける。			
・メカニクスについて再確認し、ベーシックに行うことが重要である。			
Lのローテーションは、積極的に。			
・ショットクロック、ゲームクロックの管理をクルーで協力して進める。			
・1試合を集中して走りきる力と、ミスがあっても気持ちの切り替えをできるメンタルの強さを身につける。			
《審判主任》 小澤 朋克 氏			